



学校だより (2月号)

令和4年2月1日(火) 全校生徒672名 文責 教頭 川上 和幸

学校の教育目標

郷土を愛し、心豊かで心身共に逞しく、自ら学び、高めあうことができる生徒の育成

◇めざす学校像 〈通いたい・通わせたい・応援したい学校〉

◇めざす生徒像 〈輝く生徒〉

◇めざす教師像 〈本気・情熱・謙虚を持った教職員〉



HPQR コード

コロナ禍を、思いやりを大切に、みんなで共に乗り越えましょう！！

1月中旬から新型コロナウイルス(オミクロン株)の感染拡大が加速し、毎日のように過去最大数を更新している状況が続いています。学校関係でも県内の小・中・高等学校が相次いで学級閉鎖や臨時休校になるなど感染の広がりが懸念されています。本校においても、4学級が学級閉鎖となり、生徒・保護者の皆様には、不安とご心配をおかけしたことだと思います。

しかしながら、この状況をチーム前中で、教育活動を止めることなく、なんとか乗り越えることができるように取り組んでいきます。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

また、前原中学校関係ではないと信じていますが、コロナ禍において、感染者を探るような書き込みが SNS で飛び交ったり、心無い差別や偏見、誹謗中傷等により、傷つき、悩み、苦しんでいる方たちがいます。私たちはこうした事態を大変重く、悲しく受け止めなければなりません。こうした行為があると、受診をためらう人が出て、感染の拡大につながってしまうこととなります。また、精神的にも、学校教育・地域経済にも深刻に影響します。相手は「人」ではなく「ウイルス」です。思いやりを大切に、同じ学校で、同じ職場で、同じ地域で共にいる仲間と支え合い、みんなで丸となり、この局面を乗り越えましょう！！

「受験は団体戦」 頑張れ前中3年生！！

【中学3年生の作文より】 新型コロナウイルス感染症のニュースが、報道される様になって2年がたつ。コロナ禍の中で生きる私たちは、どう生活すべきなのだろう。私たち中学3年生は、コロナ禍の中で受験をなくてはならない。今までと全く違う生活の中で勉強し、実力をつけなくてはならない。さらに休校も重なるなど、今年の受験生は様々な困難を乗り越える必要がある。正直不安でしかなかった。

しかし、考え方を変わると心が軽くなった。異例の受験は、私たちしか経験できないかもしれない。困難な状況を乗り越えた先に、成長した自分と出会えるかもしれない。これからも、たくさんのパンデミックが起こるだろう。コロナ禍の生活を経験した私たちは、将来起こるであろうパンデミックにも対応できる人材になるのではないかと。私は将来、基礎医学研究に携わりたいと考えている。今の経験を逆手に取り、将来の医療に貢献したい。どんな困難が待ち受けようと、手を取り合い、みんなで乗り越えていくことが大切だ。「受験は団体戦」という言葉がある。今こそ手を取り合い、受験という壁を乗り越えよう。

私立高校の入試から始まり、公立高校特色化選抜入試が終了し、進路が決定した生徒もいます。「俺、合格したけど、おまえのこと最後まで応援するよ」「クラスのみんなんも頑張っているんだ」一人じゃない！頑張りましょう！

本校の ICT の活用について紹介します!! (学校評価アンケートで知りたいこと NO.1)

■生徒の健康観察

登校した生徒からタブレット端末にログインし、GoogleForms を使って体温や健康状態を入力する。そのデータを担任・養護教諭が確認し、生徒の健康管理を行っている。同様の機能を様々なアンケートにも活用し、瞬時に集計して、実態把握に努めている。



■密を避けた集会の実施

会場となる教室と各教室を GoogleMeet を使って接続し、会場からの講話や資料の提示、動画視聴等を教室で行って、校内での遠隔授業(複数教室の同時授業)にも利用している。また、保護者の来校ができないため、進路説明会等のライブ配信を YouTube ライブを使って行った。保護者のスマートフォンやタブレット端末でも利用しやすく、大人数にも対応できるメリットがある。また、指定期間内で後日見ることができるともよかった。



■授業や家庭学習で使用する教材の配信

授業で使用する資料や動画、課題などをデジタルデータで作成し、Google クラウドを使って生徒に配信している。授業中に資料や動画を視聴したり、授業の感想を記入したりしている。また家庭にある端末を使って、授業中に作成した課題を家庭で付加修正して提出する生徒の姿も見られた。



■録画機能を活用した授業(保健体育科)

タブレット端末の録画機能を使って、自分の動作を録画し、それを見ながら動作を改善することにつながっている。



■補充学習(3年)

生徒の学びの保障のために、放課後、希望する生徒に学習会を行っていたが、コロナ禍のため、自宅にタブレット端末を持ち帰らせ、オンラインによる学習会を実施した。



■出校停止生徒や長期欠席者、学級閉鎖等における「ICTを活用した学びの保障プラン」

学びの保障プランを作成して実施している。「授業の様子を配信して学校の様子を知らせる」「放課後等に担任と本人だけを GoogleMeet で接続し、学習をしたり教育相談をしたりする時間を設定する」などのプランを準備し、生徒・保護者の意向を反映しながら対応している。また、学級閉鎖の際にはライブ配信による授業を実施している。「学校での授業の方がいい」「緊急の場合はこのような授業もいい」など、生徒や保護者から様々な意見があった。



■タブレットドリル開発会社を招聘した校内研修

タブレット端末を活用して生徒が自ら学習する環境を整備するために、タブレットドリル開発会社を招聘して校内研修を行った。実際にアプリに触れることで、生徒の自主学習につながるものはどのようなものかを教師が学ぶことができた。



【2月・3月初旬行事】

2月4日(金) 私立高校前期入試(3年)
学力診断テスト(1・2年)
7日(月) 公立高校推薦入試
14・15日 期末考査

25日(金) 立志式(2年生)
3月 8日(火) 公立高校一般入試
9日(水) 公立高校個性重視の特別試験
11日(金) 卒業証書授与式
(1・2年生臨時休業日)